



寄り添う心
つながる手

心がいっぱい
朝日町ボランティア
マスコット
ハートフルちゃん

ふれあいネットワーク

ハートフル通信

オール朝日町で支える 安心生活のまちづくり(町社協の基本理念)

令和5年1月1日

第26号

編集・発行
朝日町社会福祉協議会
富山県下新川郡朝日町泊418
tel.0765-83-0576
fax.0765-83-1589
http://asahiwel.com

特集

「ざらんなまじ」の想いが

地域を支える

少子高齢化や人口減少が進むなか、住み慣れた地域で少しでも安心して暮らしたいという想いは、誰もが願うことではないでしょうか。今号の特集は、「除雪」という活動を通じて、地域における支え合いの意識のへりや担い手づくりを行っている南保地区の「高畠除雪隊」の活動をご紹介します。

高畠除雪隊は、南保の高畠町内において、雪が降った日でも、住民のみならずが普段の暮らしを送ることができるよう、有志で除雪作業を行っています。

この高畠除雪隊発足のきっかけは、降雪によって起きる様々な問題があったからです。町内を通る町道山崎南保線(スーパー農道)と県道の交差点に残ってしまつた大きな雪の塊や、南保みず穂館などの避難所、非常時の出勤に備える消防団の屯所などの「暮らしを支える場所」の除雪が必要であったこと。また、ごみ収集所や、ひとり暮らし高齢者宅の除雪が必要であったことが主な理由です。



高畠除雪隊

・2014年から活動を開始
・現在、隊員は16人
冬場は、2班体制をとり12月から3月までシフトを組まれている。



新しい人材、有資格者の発掘

高畠除雪隊では、町から貸出されているロータリーとグレーダーという2種類の除雪車を使用し、除雪作業を行っています。この除雪車を動かすためには、普通免許とは別に、特殊免許の取得やそのための講習を受ける必要がありました。そこで、この活動に協力してもらええる有志を募り、講習・技能試験を受けてもらい、7~8人の方が新たに免許を取得されました。そして、以前から仕事の関係などで免許を取得されていた人を合わせて16人で活動されています。

現在は、雪の日にはいつでも出動できるように、定年後の地域住民に声をかけ、隊員になってもらい、活動されています。これからの課題としては、現在の隊員も年齢が上がってきているため、活動を引き継いでもらえる人を増やすこととです。



「安心して活動するための工夫」 について聞いてみました

- ① 保険の加入
雪道での除雪作業は危険を伴ったため、安心して作業ができるようにボランティア活動保険に加入しています。
 - ② 作業内容の確認などの共通認識
本格的に雪が降る前に、除雪車の練習日を設けています。隊員同士で除雪車の操作方法や危険な箇所の確認などを行い、どの隊員が出動しても作業に不安がないようにしています。
 - ③ 協力し合う体制
出動時は2人体制をとり、1人は除雪車の運転、もう1人は除雪車の周辺の安全確認をしています。雪が吹雪き、運転席からの視界が悪い日や、降雪によって用水路などの溝が見えなくなっている日に作業することが多いため、笛の音と誘導灯の光で安全に作業できるように体制をつくっています。
 - ④ 町からの支援
町から、除雪車の貸出や除雪車に対する保険の加入、除雪車の燃料費の補助をもらっています。また、除雪車の免許取得時も町に相談し、魚津市までの送迎のバスを出してもらいました。
 - ⑤ 出動した隊員への労い
隊員には、寒い中、地域のために除雪作業に協力してもらっており、少しでも労いの気持ちとして手当を支給しています。1日出動した場合は、千円を支給しています。この手当は、依頼があった高齢者宅の除雪に行った際にいただいたお金を充てています。
 - ⑥ 情報の共有・振り返り
冬場の活動が始まる前の11月中旬に、今年度の除雪編成や練習日について話し合っています。
- また、活動が終わった春先に、反省会・報告会を行い、活動における反省や気づき、地域住民からいただいた意見を隊員で共有します。通常の活動は、2人体制で行っているため、情報共有をしっかり行うことで、どの隊員が活動しても同じ基準で作業できるように、また困ることがないように話し合いの場を設けています。

ボランティア活動保険のご案内

雪が降った時、自主的にもしくは依頼されてご近所の除雪をお手伝いしている方がおられるかと思えます。そんな方は、ぜひボランティア活動保険に加入してみませんか。

ボランティア活動保険は、自発的に活動するボランティアのために、活動中に起こる様々な事故に対してのケガの補償がなされます。

朝日町社会福祉協議会では、ボランティア活動を支援する一環としてボランティア活動保険の加入を勧めていますので、万が一に備えてお問合せください。

※ボランティア活動保険の加入には、朝日町ボランティアセンターへの登録が必要となります。なお、保険料は、朝日町ボランティアセンターが全額負担します。(1人あたり年額350円)

今回、高畠除雪隊の方々にお話を聞いて、隊員の方々の行動力・思いに感銘をうけました。地域課題をの自分自身の課題として捉える姿勢や、新しく除雪車の免許取得するという挑戦など、地域を自分たちの手で守るという頼もしい姿を見ることができました。

このようなチームワークは、話し合いを重ねて悩みを共有し、協力し合える信頼関係を築きあげてくれたからだと思います。今回の取材で、話し合いの場を設ける重要性を実感しました。

取材を終えて

高畠町内にある交差点



消防団の屯所

消防団の方が出動する時に駐車できるように4台分の駐車スペースが除雪されています。

除雪車の練習日





地域福祉懇談会



泊三区地域福祉懇談会

高畠除雪隊のみなさんのように、自分たちの地域を守り、支え合っていくためには、その困りごとに対してまずは話し合っておられることがうかがえます。その「話し合い」によって、地域の困りごとに対して“何を行う必要があるか”や“どのような体制づくりが必要か”などをみなさんで共有していくプロセス（過程）を経ていることが、互いの信頼関係につながっているのではないのでしょうか。そして、その信頼関係こそが、人を育て、地域を愛する土壌となっているのだと思います。

このような話し合いは、各地区や町内でされていると思いますが、朝日町社会福祉協議会では、福祉や支え合いに関する話し合いの場づくり（地域福祉懇談会）を進めています。その話し合いにおいては、福祉の困りごとを共有したり、介護予防や集いの場づくり、手助けが必要な方への支援を考えるなど、「自助」「互助」の在り方を探る機会ともなっています。

慣れ親しんだ地域で、これからも安心して暮らしていくために、このような話し合いの機会がありましたら、ぜひご参加ください。

“話し合うこと”の大切さを分かち合う



おしゃべりカフェ

おしゃべりカフェとは、ボランティアに興味がある方、そして、現在ボランティア活動をしている方がボランティアについて話し合う場です。今年度は、令和4年8月26日におしゃべりカフェを開催し、20名の方が参加されました。ボランティアをしてよかったこと、嬉しかったこと、現在のボランティア活動についてなど話し合いました。

朝日町ボランティアセンターには、ボランティアグループに所属されている方、個人でボランティア活動をされている方が登録されています。活動内容は、医療や福祉、観光案内、環境美化、踊りなど幅広い分野にわたります。

現在、朝日町ボランティアセンターに登録されているボランティアグループは35グループで、人数は個人ボランティアを含めて530名です。その530名の中には、いくつかのボランティアグループを掛け持ちされている方もいます。

色んな分野で活動されている方が、ボランティアという共通の話をすることによって、新たなつながりができたり、アイデアが生まれたり、有意義な話し合いの場になりました。



新たなつながりができて、活動場所が増えた！

ボランティアメンバーの気持ちが聞けてよかった！

※朝日町ボランティアセンターに登録されているグループの一覧やおしゃべりカフェで挙がったご意見などを朝日町社会福祉協議会のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ぜひ、ボランティアに興味があって何から始めていいかわからない方、実際にボランティア活動者の話を聞いてみたい方、毎年開催しておりますのでぜひご参加ください。

また、ボランティアに関する相談はいつでも朝日町ボランティアセンターで受け付けておりますので、気軽にお声かけください。

町内のボランティアたちが集う！ 第4回朝日ふくしフェスティバルを開催

10月29日（土）、アゼリアホールは多くのボランティアでにぎわいました。フェスティバルを運営するボランティアと、自分たちの活動を発表するボランティア。ボランティアの形は違えども、そこにはコロナ禍で、お互いになかなか会うことができなかったボランティアのみなさんの、3年ぶりの再会を喜び合う笑顔があふれました。

運営ボランティアとして携わってくださった方々の言葉を紹介したいと思います。

- 「活動を制限されてきたけど、みんなの気持ちは変わっていないことが嬉しかった」
- 「同じ時間をみんなで共有できることが楽しかった」
- 「発表ボランティアとお客さん、大勢の笑顔が見られてよかった」

“誰かのため”が“自分のため”になっている！そんなボランティアの想いを感じた1日でした。



運営スタッフで記念撮影

～収集ボランティア活動～

ご協力ありがとうございました
深松組 明文堂書店
ほか、匿名の方々からもたくさんのご寄付をいただきました

障がい者交流事業を開催

気軽に取り組める障がい者スポーツを通して、地域で生活している障がいのある方や家族・支援者が一緒に体を動かして交流し、「障がい」に対する理解を深めることを目的に障がい者交流事業を開催しています。

11月8日（火）

あさひヒスイ海岸パークゴルフ場で開催する予定でしたが、雨のため、障がい者スポーツ体験会をカルチャーセンターみやざきで開催しました。

この日は、障がい者とその家族や支援者約25名が「卓球バレー」と「フライングディスク」を体験しました。

12月17日（土）

朝日町文化体育センターサンリーナで、小学生から大人まで、また、障がいのある方やそうでない方26名が「フライングディスク」を体験しました。「フライングディスク」は、誰でも気軽にできる障がい者スポーツです。「相手を思いやる」「一緒に楽しむ」「みんなが笑顔になる」スポーツ本来の魅力を体感しました。



五箇庄 ひろがれサロンの輪



五箇庄地区では桜町、月山、草野、赤川各町内の公民館で、いきいきサロンが開催されており、どの町内でも多くの参加者でにぎわっています。この写真は桜町公民館で行われた健康教室の様子です。みなさん、のびのびと体操に取り組み、健やかな時間を過ごされました。

編集後記

今号は、さまざまな話し合いの場をまとめてみました。新しい発見や出会いがある話し合いの場に参加するきっかけになればと思います。（西永）



朝日町協HP



朝日町協facebook